

Maison de Housetec



商品のトレンドや暮らしに役立つ情報をお届けします！

レンジフード、どう選ぶのが正解？

キッチンに欠かせないレンジフードですが、どれが我が家に適しているのか、わからないという方も多いと思います。今回はレンジフードの種類や特徴、選び方のポイントを解説します。



① サイズ

レンジフードの規格サイズは60cm、75cm、90cm。横幅を変えるとリフォームが大掛かりになるので、基本的には現在お使いのレンジフードと同じサイズを選びます。サイズを変更したいときは、まず施工店に相談するとよいでしょう。

② フードのタイプ

ブーツ型



機能性に
こだわらない

価格重視

※画像は BDR-3HL-9017-SI

広く普及しているスタンダードなタイプ。フィルターが付いているので定期的にフィルターの掃除が必要です。できるだけ価格を抑えてベーシックなレンジフードを取り付けたい方におすすめ。

フラット型(浅型)



省スペース

価格重視

※画像は AKB-AF75MS5070

ブーツ型に比べて高さが低いため、天井高が低いキッチンにも取り付けできるタイプです。ブーツ型同様にフィルターが付いているので定期的にフィルターの掃除が必要。天井の高さに制約があって価格も抑えたい方におすすめ。

スリム型



デザイン
重視

機能性重視

※画像は CLRL-ECS-902L/RSI

スタイリッシュでデザイン性が高いタイプ。お手入れのしやすさや省エネ性能の高さなどにこだわった高性能なものも多いため、価格よりも機能性を重視する方におすすめ。

③ お掃除のしやすさ



レンジフードは毎日使うものだからこそ、お手入れのしやすさを重視して選ぶことで、家事の時短に繋がります。たとえば、フード内部の凹凸を減らして拭き掃除がしやすくなっているタイプやファンの表面に油をはじく加工がされた機種もあります。他にもボタンを押すだけで簡単にファンを着脱できるものなど、様々な工夫が施された製品があるので比較して選びましょう。



レンジフードのお手入れラクラク機能

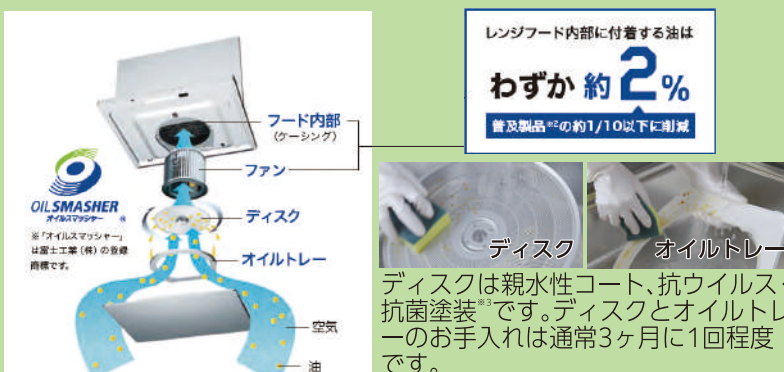
フィルターのお掃除をラクにする「フィルターレスフード」

フィルターレスフードは面倒なフィルターのお手入れが不要で、目詰まりによる吸引力の低下もありません。SERL-ECならフィルターレスに加え、お手入れしやすさの工夫と、定風量換気や間欠的な低出力運転とファンの慣性運動により消費電力を5~10%カットするエコで高機能なフードです。



※1 10年間ファンとフード内部のお掃除不要な「オイルスマッシャーフード」

高速回転するディスクまでで約90%の油をキャッチ。遠心力で分離した油は、オイルトレイに回収。ファンとフード内部のお掃除が不要でお手入れラクラク。さらにレンジフード下の温度を検知して風量レベルを自動でコントロールするので効率よく油煙をキャッチします。時短・節水・省エネ・静音と全てがそろった先進の高機能フードです。



※1「お掃除不要」とは、レンジフード内部が汚れないという意味ではありません。製品設計上の標準使用期間中(約10年)はお掃除をする必要がないとしています。※2 比較対象はBDRL(富士工業製)相当品で、1年間での比較です。なお、各数値・汚れ具合は富士工業規定の試験方法によるものであり、設置環境や使用方法により異なる場合があります。※3 すべてのウイルス・細菌に対する効果ではありません。また、油污れ等が付着した場合には効果を発揮しない場合があります。

2025年上期人気ランキング発表(キッチン編)

●扉柄ランキング



●取っ手ランキング



コーディネート
参考にしてみてください

※2025年1月1日~2025年6月30日
におけるシステムキッチン「マルーレ」
の人気ランキングです。

機関紙「メゾン・ド・ハウステック」 企画:株式会社 ハウステック 販促企画部

お問い合わせ先